

中学一年 国語 二学期期末予想問題

五十分・百点／大問七題・小問四十問

得点／百

説明文の段落・意見と根拠、小説の心情と描写、文節と文の成分、漢字の音訓、古文の読み方と「竹取物語」冒頭。既習事項の復習を含みます。

学校・教科書で教材と進度は異なります。学校の試験範囲を確かめて使いましょう。現代文は本教材のための創作文です。

問一～四は【】内の読みをひらがなで、送り仮名も含めて書きます。問五～八は【】内を漢字で書きます。各二点。

問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
川の水が【ゾウカ】する。	図形の【メンセキ】を求める。	駅と家を【オウフク】する。	係の仕事を【ブンタン】する。	工事の【影響】を受ける。	友人の意見を【尊重】する。	遠くの山を【眺める】。	【朗読】を聞く。

記号は一つ選びます。記述では句読点・かぎカッコ・数字も一字に数えます。空いているマスは、すべて埋める必要はありません。記述は指定された字数の範囲で書きましょう。

すたペンドリル

三 文法と表現 問十三～十八

問十三（二点） 「小さな鳥が庭で鳴く。」を文節に区切り、間に／を入れなさい。

[illegible]

問十四（二点） 「妹は、庭の花に水をやった。」の主語に当たる文節を書きなさい。

[illegible]

問十五（二点） 「遠くの山が赤く見える。」の述語に当たる文節を書きなさい。

[illegible]

問十六（二点） 「白い雲がゆっくり流れる。」の「ゆっくり」が直接修飾する文節を書きなさい。

[illegible]

問十七（二点） 「兄と弟が来た。」の「兄と」と「弟が」の関係を選びなさい。

ア
主語と述語

イ
修飾と被修飾

ウ
並立

工
接続

問十八（二点） 「雨が降った。しかし、試合は続いた。」の「しかし」の文の成分を答えなさい。

[illegible]

四 小説を読む 本文

① 文化祭の前日、紗季（さき）は図書室の机いっぱい地図を広げていた。正門から図書室までの道順を、小学生にも分かるように案内する係だった。明日の昼までに、案内板を仕上げなければならない。窓の位置をそろえ、階段には一本ずつ線を引いた。あとは矢印を貼るだけ。紗季は赤い紙を細長く切りながら、地図の美しさにひそかに満足していた。

② そこへ悠斗（ゆうと）が戻ってきた。「それを見ながら歩いてみていい？」紗季の地図を指さして言う。紗季は、もちろん、と答えた。悠斗は紙を持ち上げ、廊下へ出ていった。いつも通っている道なのに、確かめる必要があるのだろうか。紗季は残りの矢印を切り続けた。

③ 十分ほどたって、悠斗が言った。「階段を上がったところで、右と左が分からなくなったよ。窓が二つある場所も、地図だと一つに見える。」紗季は紙の端を強く押さえた。何度も消して、やっときれいに描けた線だった。「でも、教室の並びは合ってるでしょう。」悠斗はうなずいたが、すぐには答えなかった。

④ 「正門から、一緒に歩かない？」悠斗は地図を折らずに持った。紗季は時計を見て、ため息をついた。それでも、赤い紙を机に置いて後を追った。悠斗は正門で立ち止まり、紙を胸の前に広げた。初めてこの学校に来たつもりで、目に入るものと地図の印を一つずつ比べている。

⑤ 階段の手前では、準備を見に来た低学年の子が、別の案内図を手にしていた。その子は曲がり角で地図を回し、顔を上げてはまた紙を見た。紗季は足を止めた。自分なら迷わず通り過ぎる場所だった。壁の大きな時計に気づき、「ここに時計の絵を入れようか」と、気づくと悠斗に話しかけていた。悠斗は紙の空いているところを指でたいた。

⑥ 図書室に戻ると、紗季は細かな窓の線を消した。その代わりに、階段の前の時計と、曲がり角の青い掲示板を描き加えた。きれいにそろっていた線が少しゆがんだが、今度は気にならなかった。鉛筆の線が、さっきより軽く動いた。

⑦ 「もう一周してみる？」悠斗が聞いた。紗季は、今度は時計を見なかった。赤い矢印を一枚だけ手に取ると、もう片方の手で地図を差し出した。

本文は本プリントのための創作文です。①～⑦は段落番号です。設問ページには必要な段落を再掲しています。

四 小説を読む 問十九～二十

① 文化祭の前日、紗季（さき）は図書室の机いっぱいに地図を広げていた。正門から図書室までの道順を、小学生にも分かるように案内する係だった。明日の昼までに、案内板を仕上げなければならない。窓の位置をそろえ、階段には一本ずつ線を引いた。あとは矢印を貼るだけ。紗季は赤い紙を細長く切りながら、地図の美しさにひそかに満足していた。

② そこへ悠斗（ゆうと）が戻ってきた。「それを見ながら歩いてみてもいい？」紗季の地図を指さして言う。紗季は、もちろん、と答えた。悠斗は紙を持ち上げ、廊下へ出ていった。いつも通っている道なのに、確かめる必要があるのだろうか。紗季は残りの矢印を切り続けた。

問十九（二点）①で、紗季が急いでいた理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 図書室で借りた本を返すため

イ 翌日までに案内の準備を終えるため

悠斗と歸る約束を守るため

工 先生から地図を取り返すため

問二十(二点) ②の「それ」が指すものを、本文中の言葉で答えなさい。

[illegible]

全文は四ページ

四 小説を読む 問二十一～二十二

③ 十分ほどたって、悠斗が言った。「階段を上ったところで、右と左が分からなくなったよ。窓が二つある場所も、地図だと一つに見える。」紗季は紙の端を強く押さえた。何度も消して、やっときれいに描けた線だった。「でも、教室の並びは合ってるでしょう。」悠斗はうなずいたが、すぐには答えなかった。

④ 「正門から、一緒に歩かない？」悠斗は地図を折らずに持った。紗季は時計を見て、ため息をついた。それでも、赤い紙を机に置いて後を追った。悠斗は正門で立ち止まり、紙を胸の前に広げた。初めてこの学校に来たつもりで、目に入るものと地図の印を一つずつ比べている。

問二十一 (三点) ③で紗季が「紙の端を強く押さえた」のはなぜか。二十五字以上四十字以内で書きなさい。

[illegible]

問二十二（三点）④で、悠斗が正門まで戻った目的を選びなさい。

ア 正門の写真を撮って地図を飾るため

イ 案内係の人数を数えるため

地図を使わずに近道を探すため

工 初めて来る人の立場で道順を確かめるため

全文は四ページ

問二十三（三點）
⑤で、紗季が足を止めたきっかけとなった出来事を答えなさい。

[illegible][illegible][illegible]

五 説明文・論説文を読む 本文

① 誰かにやり方を説明したのに、思ったとおりに伝わらなかったことはないだろうか。そのとき、私たちは「もっと詳しく話せばよかった」と考えがちだ。しかし、言葉を増やすだけで、本当に分かりやすい説明になるのだろうか。

② 例えば、道案内で「そこを右へ曲がって」と言われても、話し手と聞き手が別の方向を向いていれば、同じ場所を思い浮かべられないことがある。「橋を渡って最初の角を右へ」のように、動かない目印を示すと、場所を確かめやすい。【A】、時計台のように遠くから見える目印なら、進む方向を見失ったときにも役に立つ。

③ 工作の説明でも、同じことが起こる。紙の折り方を教えるときの説明Aは「そこを向こう側に折って」、説明Bは「紙の右上の角を中心の点に重ねて」である。初めて作る人にとっては、説明Bのほうが分かりやすいだろう。どの部分を動かすか、どこまで折るかが、見て確かめられるからだ。言葉が多いこと自体に価値があるのではない。必要な部分が具体的にになっていることが大切なのである。

④ 一方、毎日その工作をしている人に、紙の置き方から一つずつ説明すれば、かえって聞きたいことが見つかりにくくなるだろう。その人が新しく知りたいのは、最後の折り方だけかもしれない。詳しい説明がいつでも親切とは限らない。説明を受ける人が、すでに何を知っているかによって、必要な詳しさは変わる。

⑤ 説明とは、自分の知っていることを残らず相手に渡すことではない。相手が何を知り、何に迷っているかを考えて、必要な手がかりを選ぶことである。選んだ手がかりが役に立ったかどうかは、相手の言葉や動きから確かめられる。伝え終わったところが説明の終わりとは限らない。相手の様子を見て言葉を選び直すことまでを、説明の一部として考えたい。

本文と説明A・Bは、本プリントのための創作文です。設問ページには必要な段落を再掲しています。

五 説明文・論説文を読む 問二十六～二十七

① 誰かにやり方を説明したのに、思ったとおりに伝わらなかったことはないだろうか。そのとき、私たちは「もっと詳しく話せばよかった」と考えがちだ。しかし、言葉を増やすだけで、本当に分かりやすい説明になるのだろうか。

② 例えば、道案内で「そこを右へ曲がって」と言われても、話し手と聞き手が別の方向を向いていれば、同じ場所を思い浮かべられないことがある。「橋を渡って最初の角を右へ」のように、動かない目印を示すと、場所を確かめやすい。【A】、時計台のように遠くから見える目印なら、進む方向を見失ったときにも役に立つ。

⑤ 説明とは、自分の知っていることを残らず相手に渡すことではない。相手が何を知り、何に迷っているかを考えて、必要な手がかりを選ぶことである。選んだ手がかりが役に立ったかどうかは、相手の言葉や動きから確かめられる。伝え終わったところが説明の終わりとは限らない。相手の様子を見て言葉を選び直すことまでを、説明の一部として考えたい。

全文は八ページ

問二十六（二点） ①の問いに対する答えとして、筆者が⑤で述べていることを選びなさい。

ア 説明は長いほど必ず分かりやすくなる

イ 説明には専門的な言葉だけを使うとよい

ウ 相手に必要な手がかりを選ぶ必要がある

エ 説明を聞く人が全て覚えればよい

--	--

問二十七（二点） ②の空欄Aに入る最も適切な言葉を選びなさい。

ア また

イ しかし

ウ つまり

エ それでも

--	--

五 説明文・論説文を読む 問二十八～二十九

③ 工作の説明でも、同じことが起こる。紙の折り方を教えるときの説明Aは「そこを向こう側に折って」、説明Bは「紙の右上の角を中心の点に重ねて」である。初めて作る人にとっては、説明Bのほうが分かりやすいだろう。どの部分を動かすか、どこまで折るかが、見て確かめられるからだ。言葉が多いこと自体に価値があるのではない。必要な部分が具体的になっていることが大切なのである。

④ 一方、毎日その作業をしている人に、紙の置き方から一つずつ説明すれば、かえって聞きたいことが見つかりにくくなるだろう。その人が新しく知りたいのは、最後の折り方だけかもしれない。詳しい説明がいつでも親切とは限らない。説明を受ける人が、すでに何を知っているかによって、必要な詳しさは変わる。

問二十八（三点）
③で、説明Aより説明Bが分かりやすいとする理由を、三十字以上四十五字以内で書きなさい。

[illegible]

問二十九（三点）
④の具体例から分かることとして適切なものを選びなさい。

ア 説明を短くすれば、どんな相手にも伝わる

イ 相手が知っていることによって必要な詳しさは変わる

一度覚えた手順は、説明する必要がなくなる

工 初めての相手にも、細かい説明は必要ない

五 説明文・論説文を読む 問三十～三十一

② 例えば、道案内で「そこを右へ曲がって」と言われても、話し手と聞き手が別の方向を向いていれば、同じ場所を思い浮かべられないことがある。「橋を渡って最初の角を右へ」のように、動かない目印を示すと、場所を確かめやすい。【A】、時計台のように遠くから見える目印なら、進む方向を見失ったときにも役に立つ。

③ 工作の説明でも、同じことが起こる。紙の折り方を教えるときの説明Aは「そこを向こう側に折って」、説明Bは「紙の右上の角を中心の点に重ねて」である。初めて作る人にとっては、説明Bのほうが分かりやすいだろう。どの部分を動かすか、どこまで折るかが、見て確かめられるからだ。言葉が多いこと自体に価値があるのではない。必要な部分が具体的になっていることが大切なのである。

④ 一方、毎日その作業をしている人に、紙の置き方から一つずつ説明すれば、かえって聞きたいことが見つかりにくくなるだろう。その人が新しく知りたいのは、最後の折り方だけかもしれない。詳しい説明がいつでも親切とは限らない。説明を受ける人が、すでに何を知っているかによって、必要な詳しさは変わる。

問三十 (三点) ②と③の関係を説明したものととして適切なものを選びなさい。

ア ②の意見を③で全面的に否定する

②と無関係な話題へ③で移る

②の結論を③でそのまま繰り返す

②と同じ問題を、③では別の具体例で示す

問三十一 (四点) ⑤の「必要な手がかり」の例を、②と④の内容から二つ答えなさい。

[illegible]

全文は八ページ

五 説明文・論説文を読む 問三十二

⑤ 説明とは、自分の知っていることを残らず相手に渡すことではない。相手が何を知り、何に迷っているかを考えて、必要な手がかりを選ぶことである。選んだ手がかりが役に立ったかどうかは、相手の言葉や動きから確かめられる。伝え終わったところが説明の終わりとは限らない。相手の様子を見て言葉を選び直すことまでを、説明の一部として考えたい。

問三十二（五点） 筆者の考えに基づき、「説明の後で相手に実際にやってもらう」ことが役立つ理由を、四十字以上六十字以内で説明しなさい。

[illegible]

全文は八ページ

問三十三（二点） 本文の「いふ」を現代仮名遣いに直しなさい。

問三十五（二点） 本文の「うつくしうて」に近い意味を選びなさい。

- ア 広
イ か
ウ 珍
エ 悲

すたぺンドリル

七 資料を用いて書く

図書室を利用した中学一年生三十人に、改善してほしいことを尋ねた架空の調査です。複数回答です。

改善してほしいこと	希望者数
本を探す案内	22人
座席の数	15人
新しい本の種類	18人

資料から確実に言えることを一つ選びなさい。

ア 全員が座席を増やしてほしいと考えている

イ 本を採す案内の希望者数は、新しい本の希望者数より多い

新しい本を希望した人は、案内を希望していない

工 三つの人数を足すと、回答者の人数になる

問四十（六点） 図書委員として、まず取り組みたいことを資料から一つ選び、五十字以上八十字以内で提案を書きなさい。資料の数字を一つ以上使い、取り組みの具体例も入れること。

[illegible]